

【題材名】「言葉から想像を広げて」～読書を通して深めた思いを絵に表し、みんなの作品を集めて「6-1ブックアート展」を開こう～

### 【題材目標】

- 物語などを読んで想像したことを絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解すると共に、前学年までの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すようにする。
- 物語などから感じたこと、想像したこと、表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えると共に、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。
- 主体的に物語などを読んで想像したことを絵に表す活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

### 【学習の方向性】

- 感じたことや想像したこと、見たこと、伝えたいことから表したいことを見付け、主題を効果的に表す。
- 活動したことや表現したもののよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。

【A表現】(1)イ(2)イ 【B鑑賞】(1)ア〔共通事項〕(1)アイ

### 【評価規準】

#### <知識・技能>

- 物語などを読んで想像したことを絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。
- 前学年までの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。

#### <思考・判断・表現>

- 物語などから感じたこと、想像したこと、表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。
- 自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。

#### <主体的に学習に取り組む態度>

主体的に物語などを読んで想像したことを絵に表す活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

### 【単元計画】全8時間（題材に関わる学習7時間＋鑑賞1時間）

- （第0時 読書感想画の学習について予告し、自分が扱いたい本を選び、読んでおく）
- 第1・2時 読んだ本から得た感想をもとに、それを絵にするための構想を考える
- 第3時 構想をもとに、描く内容や構図などを再考しながら、画用紙に下描きを行う。
- 第4・5時 これまでに学習した技法などを生かし、気持ちを表す色などを意識して彩色を行う。
- 第6時 彩色した作品を見直し、細部の仕上げを行う。併せてり返しを行う。
- （鑑賞1時間 鑑賞ステップアップシートを用いて、読書感想画コンクールで入賞した作品の鑑賞を行う。）
- 第7時 前時の学びを生かして、個々の作品の鑑賞を行う。【本時】

実際は彩色で時間が足りず、もう一時間追加で行っています。  
また、休み時間に取り組んだ児童もいます。

【本時目標】 友達の作品のどこに注目したのかを手がかりに、表現の意図や特徴について考え、友達と交流する中で自分の見方や感じ方を深める。

## 学習活動

### ◆導入◆【課題の設定】

1. 前時の振り返りから「理由をもって鑑賞すると見方が深まる」ことを共有する。
2. 今日扱う作品（クラスで事前に選んだ作品）を提示する。
3. 今日の学習のめあてを各自で設定する。

### ◆展開1◆【情報の収集】「整理・分析」

#### 1. 作品を分析的に鑑賞する

- ・「事実 → 理由 → 解釈」で鑑賞カードに整理する。

#### 2. ロイロノートで意見を共有する

- ・出てきた意見を見合い、気付きや疑問を確認する。

#### 3. 全体で深める

- ・「この色の理由は？」 「構図の意図は？」 「作者が考えていなかったかもしれない解釈は？」などの視点で話し合う。

### ◆展開2◆【情報の収集】「整理・分析」

#### 1. 自分で鑑賞したい作品を選ぶ

- ・選んだ作品をロイロに提出

#### 2. 個人または複数で鑑賞する。

※様子を見ながら、意見交流の場を設定する。

### ◆終末◆「まとめ・表現」

#### 1. 今日の学習の振り返りを書く

- ・今日の鑑賞で得た「新しい視点」「思考の変化」や「今後どんな鑑賞ができるようになりたいか」を書く。

## 指導の手立て 【★評価】

### 【「個別最適な学び」を目指すための手立て】

- ① 児童が自分のペースで思考を整理できるように、鑑賞ステップアップシートを用いて気付きを段階的に言語化できる場を設定する。
- ② 興味をもった作品を選んで鑑賞できるように、自由選択の鑑賞場面を設け、主体的に学習に向かう姿を支える。

### 【「協働的な学び」を目指すための手立て】

- ① 友達の多様な視点や感じ方に触られるように、ロイロノートで鑑賞の視点を共有し、互いの考えを比較・関連付けて捉えられるようにする。
- ② 意見の違いが価値として生かされるように、児童の発言に共通点や相違点を見いだせる問いを投げかけ、違いを肯定的に位置付ける場をつくる。

- ① 児童一人ひとりの気付きをもとに考えを広げられるように、作品の解釈に複数の可能性があることを示し、解釈の視点を意識化させる。
- ② 児童の自由な発想を保障できるように、教師自身が「答えをもちに聞く姿勢」を示し、発言を受け止めながら根拠をもった説明へと導く。
- ③ 考えを広げたり深めたりできるように、児童の発言に基づいて具体的な問い返しを行い、気付きと根拠を結び付ける思考を促す。
- ④ 個別鑑賞で児童の視点を言語化できるように、巡回しながら気付いた点を短く言葉にする支援を行い、自分の見方を整理できるようにする。
- ⑤ 個人鑑賞でも協働的に学べるように、児童の様子を見取りながら、近くの友達と短く意見交流する場面を設定し、考えを確かめ合えるようにする。

★作品の「どの部分を手がかりに」「どのような理由で」「どのような解釈をしたか」を、自分の言葉で説明し、鑑賞カードに根拠をもって書いている。